

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17132
事務事業名	観光総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 長期にわたるわが国経済の低迷や少子高齢化に伴う若者人口の減少、非正規労働者の増加等に伴う消費環境の変化、さらには、平成23年3月11日の東日本大震災の影響などにより、市の観光を取り巻く環境は依然厳しい状況にある。一方で、訪日外国人旅行者の増加や平成27年3月に予定される北陸新幹線の金沢延伸などにより、さらなる観光振興の可能性が広がってきている。これらの状況に対応し、市における観光振興の基本的方向を定め、観光振興施策を総合的に展開していくための計画の策定等を行う。

事業の目的
 社会状況の変化に対応した観光振興施策を展開し観光立市を実現するための取り組みを行う。
 観光審議会を開催するとともに、温泉地や自然保護、国立公園、山岳観光等の関係機関・団体等と緊密な連携を確保し、その効果的かつ総合的な施策の推進を図る。
 今年度は東山周辺地域について、総合的な観光整備計画を策定する。

事業内容
 観光審議会の開催、各種団体と連携し事業を展開する。
 H25年度 大町市観光振興計画
 H26年度 大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画
 H27年度 大町市東山周辺地域観光整備計画

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	8,373 千円	8,676 千円	8,391 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	8,373 千円	8,676 千円	8,391 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	観光審議会の開催	回		6	4	5	80.0%	2
②	東山周辺地域観光整備計画懇話会	回			2	—	—	3
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	観光施策等の策定	本			1	1	100.0%	1
	②								
③									
2. 数値で表せない効果 （指標）									

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	低い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	1	3	2	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	平成27年度は大町市東山周辺地域観光整備計画の策定に向け、昨年からの懇話会を開催し関係者等から意見提言をいただくとともに、今年度についても継続開催をする。そこで出された意見等を踏まえながら、専門コンサルタントに策定業務を委託し整備計画を策定する。観光は、観光関係者だけでなく他の事業者とも密接な関わり合いがあるため、観光施策を策定する上で他の計画と整合性を図りながら計画策定を行う必要がある。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17133
事務事業名	観光施設管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズ対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
観光客が安全・安心して利用できる観光施設の適切な維持管理と老朽化した施設の改築、改修を行う。

事業の目的
観光施設の適正な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。
大町市アミューズメントハウス及び大町温泉郷森林劇場については、指定管理者制度を導入して経費の節減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める。

事業内容
観光施設及び温泉管の維持管理、新設、修繕等
指定管理：大町市アミューズメントハウス、大町温泉郷森林劇場
H26年度 扇沢市営第2駐車場、若一王子神社公衆トイレ改築、塩の道観光案内看板（中綱神社）ほか
H27年度 大町市アミューズメントハウス配管ポンプ交換工事、三十三番札所案内標柱 ほか

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	108,229 千円	118,862 千円	113,127 千円
	国庫支出金			
	県支出金			37,516 千円
	起債			
	その他財源			
	一般財源	108,229 千円	118,862 千円	75,611 千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	管理施設	箇所	8	8	8	8	100.0%	10
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	修繕施設	箇所	20	13	11	20	55.0%	10	
	②	新設工事	箇所	4	4	4	3	133.3%	1
	③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	普通	一部重複	普通
点数	3	3	2	2	2	3
評価 今後の 方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	やり方改善	観光施設の計画的な改修を行い、財源については補助事業や有利な起債等の活用に努める。				
	評価点合計	当市は、H25年度に県の「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」のモデル地域として指定された。この事業に積極的に取り組み、補助金を活用して観光施設の整備を行う。				
	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17134
事務事業名	登山道改修補助事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 山岳文化都市として、貴重な山岳環境を保全し次世代に引き継いでいくため、また、全国から訪れる登山者を迎え入れていくため安全な登山活動ができるように登山道の維持管理を行う。

事業の目的
 山岳関係者と協議し登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行う。
 また、山小屋関係者と登山道等の維持管理について協議を行い、安全で良好な登山道の維持管理に努める。

事業内容
 H23年度整備箇所 針ノ木岳登山道、三俣蓮華岳付近登山道
 H24年度整備箇所 餓鬼岳登山道、船窪乗越周辺、爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳周辺登山道
 H25年度整備箇所 竹村新道周辺登山道
 H26年度整備箇所 針ノ木岳登山道
 H27年度整備箇所 ブナ立登山道、餓鬼岳登山道、船窪乗越周辺、爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳周辺登山道 ほか

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業費	総事業費（決算額）	2,219 千円	1,225 千円	765 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	2,219 千円	1,225 千円	765 千円

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	登山道改修要望	3	1	1	2	50.0%	7
②							
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	登山道整備箇所	3	3	1	1	100.0%	5
②	登山者数	86,000	87,300	88,300	88,000	100.3%	89,000
③							
2. 数値で表せない効果 （指標 ）							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 登山道整備においては、補助金制度により毎年2路線ずつ改修を行ってきたが、改修自体は毎年あるものの、路線を選定していたため、山小屋関係者が効率的に補助金の制度を活用できていない。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	低い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	1	2	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	やり方改善	近年、登山に訪れる観光客が増加し、客層も老若男女と幅が広いため、登山者の安全を考慮した整備が望まれている。 平成27年度から補助金の交付要件等を見直し、より数多くの登山道整備を対象とできるようにする。また県山岳環境連絡会を通じ補助金等の活用を検討する。				
	評価点合計	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17141				
事務事業名	宣伝誘客イベント事業			会計	一般会計				
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1	目	4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進								
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画					頁	
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等			

事業の概要
観光関係者・地元住民等との協働によるイベント開催と誘客宣伝及びパブリシティ活用を目的に、各種イベントの開催や運営支援を行う。

事業の目的
住民参加や地域、観光従事者などと連携した取り組みにより、行政主導のイベントではなく大町市の特色を生かしたイベント事業を実施する。
イベント実行委員会による企画・運営を行うことにより、官民一体となった「協働のまちづくり」が実践されるとともに、「おもてなし」の心の醸成や観光ボランティアの育成を図り、観光客の宣伝誘客に寄与する。

事業内容
アルペンルートオープンカーニバル、塩の道祭り、針ノ木岳慎太郎祭、若一王子神社夏祭り、木崎湖花火大会、紅葉トレッキングや雪まつり等の開催支援を行う。
また、大町市観光協会等と連携し、新たなイベント開催の検討に取り組む。

年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	11,068千円	7,098千円	60,552千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	11,068千円	7,098千円	60,552千円

活動指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① イベント実行委員会	回	5	5	5	5	100.0%	5
② 各種イベント	回	3	3	3	3	100.0%	3
③							

1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度（H26）	達成率	次年度（H27）
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
① オープンカーニバル	人	294	412	421	310	135.8%	400
② 塩の道まつり	人	817	809	710	900	78.9%	800
③ トレッキングイベント	人	245	275	70	340	20.6%	340
2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
既存イベントについては、内容および参加者が固定化してしまう傾向にある。またイベントのターゲットを明確にして企画立案する必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	普通	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	3	2	3	3	3	2
評価	方向性					
	今後の方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	やり方改善	立山県部アルペンルートオープンカーニバルについては、安全祈願祭とイベントの日を別の日に開催することで、参加者も県外から参加できるようになり、宿泊にもつながることとなり、一定の評価をしている。				
	評価点合計	今後においても、既存のイベント内容を見直し、目的を明確にして改善できるものは、改善する。また、商店街とイベントの連携もできたことから、市街地への誘導にもつながるようになったが、更に商店街への誘導に努めるよう、商工会議所や商店街等との連携を模索する。なお、26年度は、クマ出没により2回のトレッキング事業が中止となった。				
	16 / 18					

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17142
事務事業名	観光振興事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 観光客の増大等の観光振興を図るため、市観光協会を中心に誘客宣伝事業を展開する。観光客の多様なニーズに対応するため、目的に応じたパンフレットを作成するとともに、テレビやラジオ、旅行雑誌、新聞、ホームページなどを通じて観光情報を発信する。また、周辺自治体や関係団体等と連携し、広域的な観光客の受け入れを図り滞在型周遊型の観光を推進する。

事業の目的
 本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信するとともに、観光キャンペーンを行い滞在型周遊型の観光誘客に取り組む。観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指し、観光客の受け入れ体制を強化するとともに、観光案内の充実や観光ガイド人材の育成、広域観光拠点をつなぐ2次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。

事業内容
 観光案内や宣伝等の充実のための市観光協会への支援、観光団体と連携した観光キャンペーンの展開、2次交通の整備による受入体制の強化、パンフレット等の印刷物やテレビ・ラジオなどのマルチメディアを通じた観光情報の発信、達人検定の開催、観光大使との連携、周辺自治体等と連携した広域観光の推進、県と連携したインバウンド事業や学習旅行誘致の推進等を行う。

事業費	財源内訳	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
		総事業費(決算額)	88,546千円	88,679千円	88,729千円
		国庫支出金			
		県支出金	29,214千円	14,258千円	41,806千円
		起債			
		その他財源			
		一般財源	59,332千円	74,421千円	46,923千円

活動指標	指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
	① 市観光協会HPアクセス	件	実績値 265,789	実績値 309,027	実績値 446,819	目標値 300,000	(%) 148.9%	目標値 480,000
	② 市観光協会案内(窓口・電話)	件	実績値 21,176	実績値 22,568	実績値 23,309	目標値 23,000	(%) 101.3%	目標値 25,000
	③							

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成24年度	平成25年度	平成26年度	前年度(H26)	達成率	次年度(H27)
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	① 観光入込数	百人	29,000	29,149	27,556	30,000	91.9%	30,000
	② 観光消費額	億円	122	125	117	130	90.0%	130
	③ 黒部ダム外国人観光客数	人	90,168	148,000	171,747	100,000	171.7%	185,000
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない理由等
 観光は、当市の基幹産業の一つであり他産業の振興や雇用など地域経済への波及効果は大きいと見られ、継続して誘客宣伝に取り組む必要がある。また、市観光協会や協議会等が主体となって観光イベントや誘客キャンペーン、情報発信などを行っているが、今後も継続して連携と支援をするとともに、組織全体の見直しと強化を図り、協会のあり方を検討する。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	改善の余地あり
	点数	3	2	3	2	3	2
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	評価点合計	市観光協会へは市職員1名を研修派遣し、組織及び連携の強化を図る。インバウンドについては、ビザの緩和等により、大幅な増加となっている。今後も、立山黒部貫光(株)や関西電力(株)と連携し、更なる誘客に結び付ける。ホームページのアクセス数が増加してきていることは、ホームページのリニューアルにより、一定の成果があったと認められる。					
	15 / 18						

